

**UMECON**

# 取扱説明書

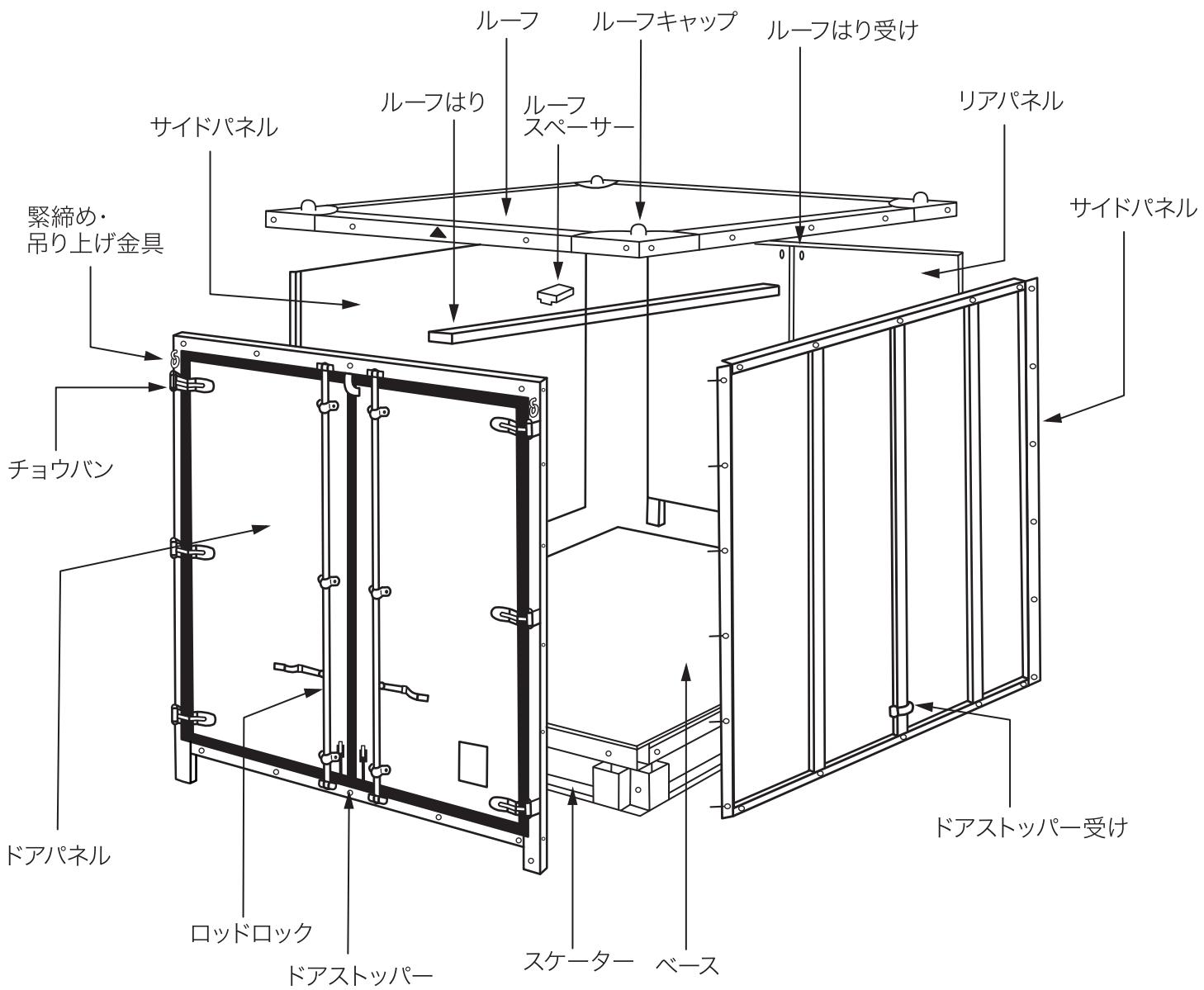
「取扱説明書」を  
よくお読み頂き  
大切に保存して下さ  
い。



この度は、「ウメコン」をお買上げ頂き誠にありがとうございました。  
当社のウメコンは、万全の品質管理のもとに製造致しております。  
輸送用、保管用コンテナ、として幅広くご利用頂ける事と思います。  
ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読み頂き、正しい方法で  
ご使用いただきます様、お願い申し上げます。  
又、この「取扱説明書」は大切に保存して下さい。  
※UC201シリーズ、Mark II共通です。

## 各部の名称

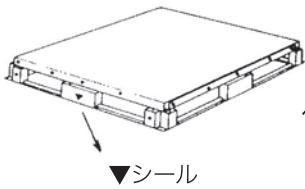
(MARK IIは、多少形状が異なります。)



# 組立順序

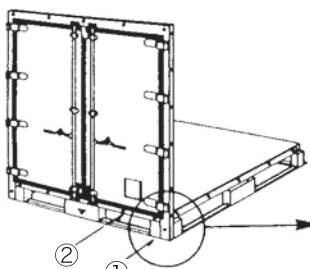
■組み立てに必要な工具 プラスドライバー(3番ビット)又は電動ドライバー

1

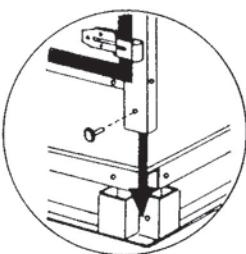


ベースをできる限り平な所に置く。  
▼シール

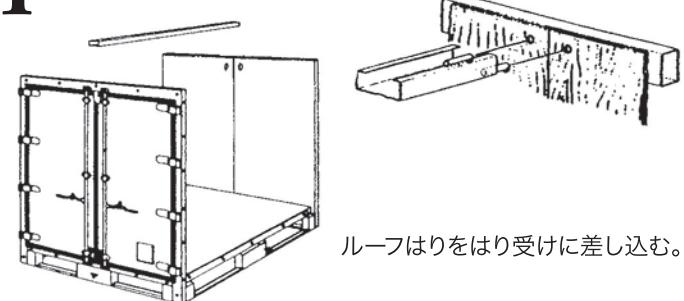
2



ドアパネルをベース部(▼シールの貼ってある側)に立て、コーナー柱下部(L形状)①とフレーム下部②を大きいボルトで止め、ベースに固定する。

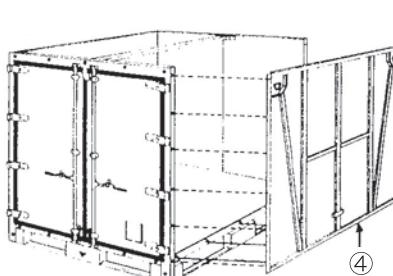


4



ルーフはりをはり受けに差し込む。

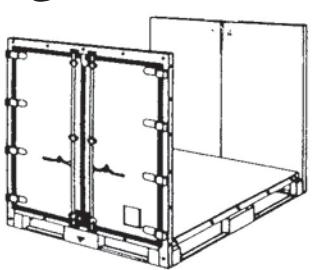
5



パネル両端にあるアジャスター PINを全て受穴に入れてから両コーナー③を小さいボルトで止め、下部④を大きいボルトで止める。

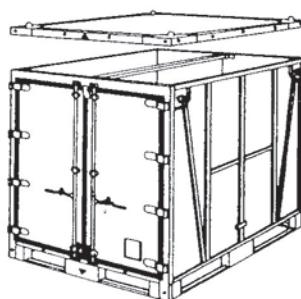
点線のところは小さいボルトで、実線のところは大きいボルトで止めて下さい。

3



リアパネルをたて項目2と同様に大きいボルトで止める。

6



▲シールの張ってある方をドアあるいはリア方向にしてかぶせること。ルーフをかぶせ、小さいボルトで止める。先ずリア方向よりかぶせるとよい。

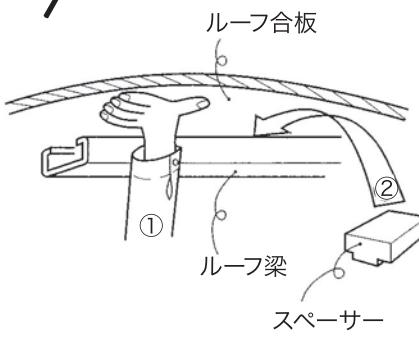
※組み立てるのに2人で約15分位です。

## 仕様

- 外装 スチール角パイプ+ガルバリウム
- 内装 合板

段積み数	最大3段
Frame塗装	1年間機能保証 塩害地、亜硫酸ガス対流地域、農薬散布近接地等は、この限りではありません。又、保証期間内においても若干の表面酸化は予測されますのでタッチペイントにて補修して下さい。
防水性	耐塩水噴霧性:5%食塩水、35°C、120H 表面耐水性:水道水、浸漬、40°C、240H 耐湿性:50°C、RH98%以上、240H 通常の雨風については問題ありません。 尚、気象庁が発表する各種警報発令時など特別な時を除く。 雨漏りはしませんが、空気は通します。 つまり校倉造りのコンテナです。
通風性	

7



コンテナ組立完了後、以下の手順でスペーサー取り付けを行なって下さい。

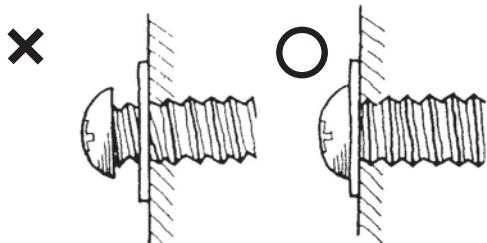
- ① ルーフ合板の中心附近を手で押し上げて下さい。
- ② ルーフ合板とルーフ梁のすき間にスペーサーを入れて下さい。
- ③ スペーサーの凸とルーフ梁の凹を噛合わせて完了です。

■上記5番まではボルトを**仮止め**とし6番の作業へ入る時点でボルトを**本締め**してルーフをかぶせて下さい。

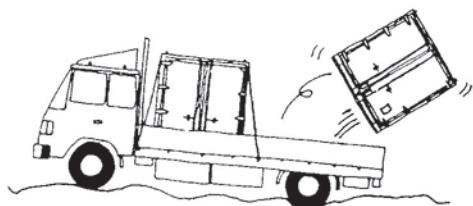
# 特にご注意していただきたいこと…

## ■組立時

ビスはしっかりと締めて下さい。  
(ビス締めが不十分ですと水もれの原因となります。)

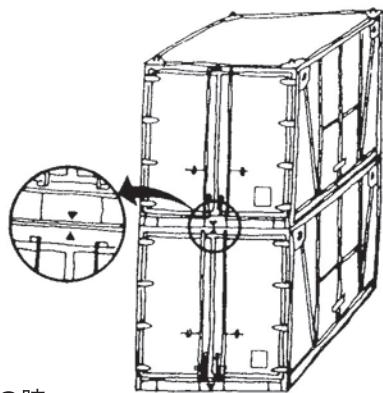


## ■輸送時のウメコンは緊締をしっかりと吊り上げ金具をご利用下さい。



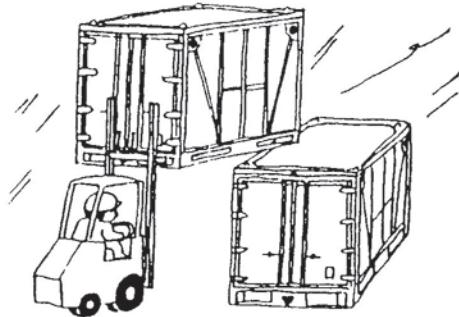
## ■段積みの方法

三角のシールを合わせて下さい。



## ■台風の時

台風時には2段3、段積みは下へ降ろして下さい。  
(特に空のコンテナ)



## ■ノックダウンの状態で保管される場合

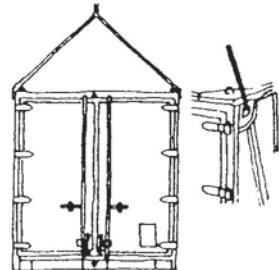
必ず屋内で保管して下さい。  
(ノックダウンの状態で雨等にぬれると、カビの発生の原因になります。)

付属品	● $\phi 10 \times 50 \text{ mm}$ (大きいボルト) については $\phi 10 \times 55 \text{ mm}$	● $\phi 8 \times 25 \text{ mm}$ (小さいボルト)
-----	---	---

スペア各1本づつ入っています。

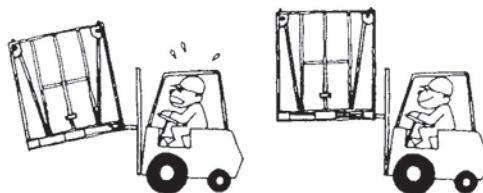
## ■吊り上げる場合

吊り上げ金具をご利用いただき、  
4点吊りで吊り上げをして下さい。



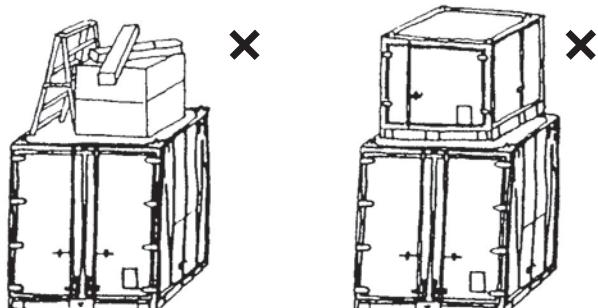
## ■フォークリフト作業の場合

フォークの長さは1600  $\text{mm}$  以  
上のもので作業して下さい。



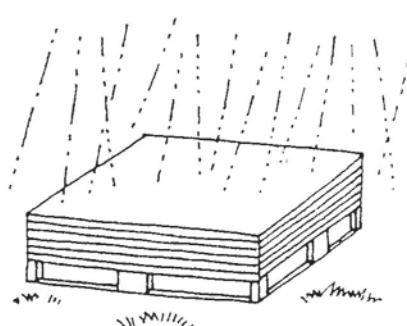
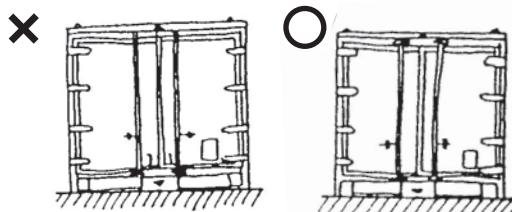
## ■ルーフ(天井)

ルーフに荷物やサイズ違いのコンテナを乗せ  
ないで下さい。必要上乗せる場合はアジャ  
スター(別売)をご利用ください。



## ■コンテナの設置について

コンテナは水平に置いて下さい。  
雨もれの原因にはなります。



# スムーズに組立ができない場合、こんな症状が考えられます。

## 症状

A ベース周りのボルト穴が合わない場合。

B アジャスターインに従ってパネルを立て、かつ、ボルト穴が合わない場合。

## 考えられる原因

A ●ベースが平らな所に置かれていない。

●各パネルがうまくベースにセットされていない。

B ●ベース周りのボルトの締めが強すぎる。

## 処置

A ベースをできる限り水平にし再度セットし直し、穴位置を確認する。

B ボルトを少しゆるめ、穴位置の調整をする。

## コンテナ取扱いの注意事項

1.コンテナ使用後、ドアを閉め施錠する前にコンテナ内に危険物、人等が残っていないかを確認してから閉めて下さい。

2.コンテナを吊り上げる時は必ず4点吊りして下さい。  
また、下に人がいないことを確認して下さい。

3.火気の近くに、コンテナを設置しないで下さい。

4.空コンテナを段積みする時は、強風時、倒れない様、注意して下さい。

5.天井に人がのったり、物をのせたりしないで下さい。

6.トラックでの輸送後、ボルトが緩む場合もありますので、増し締めして下さい。

### 製造元

**EM** 株式会社 ヤエムウメムラ

〒460-0022 名古屋市中区金山1-15-2ネストF2 9階

TEL(052)331-2727 FAX(052)323-0650

<http://www.em-umemura.co.jp>

### 代理店